

標題 : 自治労組織内参議院議員(比例代表)の活動報告記事(23.11.27)について  
発信番号 : 自治労情報2023第0200号  
発信日付 : 2023年11月27日  
宛先(団体) :  
宛先 : 各県本部委員長様  
送信者(団体): 全日本自治団体労働組合  
送信者 : 中央執行委員長 石上 千博

連日のご健闘に敬意を表します。

参議院比例代表選挙選出の自治労組織内議員である「鬼木まこと」「岸まきこ」各参議院議員の活動報告をお送りいたします。

つきましては、県本部・単組等の、機関紙・ニュース等でご活用いただきますようお願いいたします。

#### 1. 記事掲載URL(記事Wordファイルおよび写真データを掲載)

<https://remote2.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/cabinet/index?hid=8094&sp=0>

#### 2. 記事内容

##### ◆鬼木まこと参議院議員「放課後児童支援員の処遇改善は喫緊の課題」

今国会から所属している参議院内閣委員会にて11月14日に質問に立ちました。自治労本部総合公共民間局長時代から多くの課題についてお聞かせ頂いていた放課後児童クラブに関連して、加藤子ども政策担当大臣と子ども家庭庁に対し質問しました。

政府が新・放課後子ども総合プランで掲げた放課後児童クラブの受け皿整備目標の達成が厳しくなっている根底には支援員の確保・育成・定着の困難さの問題があり、その原因は支援員の賃金の低さと雇用の不安であるといえます。放課後児童クラブの必要性や重要性に対する自治体の認識があやふやになっているため、責任と問題意識、専門性を持った支援員が常勤職員ではなく非正規職員という処遇となっていると指摘し、国が責任を持って自治体に体制整備などへの理解を進めるとともに、支援員の処遇改善に決意を持って取り組むよう大臣に求めました。総合プランの目標達成には、常勤職員への転換を含めた支援員の処遇改善が喫緊の課題であり、今後も継続して注視していきます。

##### ◆岸まきこ参議院議員「補正予算案審議において岸田総理の「聞く力」を質しました」

11月27日、鬼木まこと組織内議員をはじめ仲間の議員の応援の中、参議院予算委員会において、岸田首相をはじめ関係大臣に対し2023年度補正予算案関連事項について質問に立ちました。

政府の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」について、定額減税と低所得者世帯支援のハザマの施策がどのような制度設計になるのか、未確定な段階での発表であることへの疑義を問うとともに、実務を担うことになる自治体に対し、十分な説明を尽くすべきと質しました。

辺野古新基地建設問題については、国が行政不服審査請求や代執行を強行しようとする姿勢に対し、地方自治の意思決定を踏みにじることは地方分権の観点からも許されないこと、まずは当該地方自治体としっかりと話し合う姿勢が必要であると説きました。

また、新型コロナウイルス感染症に係る引き続きの医療提供体制確保策と後遺症対策・ワクチン健康被害救済策の充実の必要性、そして、マイナ保険証を今後普及させるためにも既存の健康保険証廃止時期の見直しを求めました。